



高田 正子氏プロフィール

1959年岐阜県出身。1990年、黒田杏子の「藍生」創刊に参加。1997年、藍生賞受賞。2015年、第三句集『青麗』により第3回星野立子賞受賞。

『花 実』（自選十五句）

高田 正子

くみおきて水に木の香や心太
瀧の影瀧におくれて落ちにけり
遠くまで遊びに来しよ霞の花
あをぞらのゆつくりうごく小春かな
花のうへ花湧き出でてひかりけり
大釜に飯炊きあがる桜かな
足跡の乾いてをりぬ梅の花
亀の子のすつかり浮いてから泳ぐ
軽晷の子の一羽は眠りきれずをり
かなたより空かげりくる山法師
夕顔に月の光の髪生まれ
千枚の田を貫いて天の川
冬菜畑さへぎるものなかりけり
一本の炎の形して枯るる
流れたき形に水の凍りけり